

関西大学地域連携センター〈地域で活動する若い力〉奨励賞 評価基準

◆書類審査

【審査員評価】

- ・以下 A～E の評価項目に沿って審査を行う
- ・A・B・C・D は各団体を絶対評価、E は他団体との比較を含めて相対的に評価する（評点：各 5～1 点）

評価項目	着眼点
A 客観性のある見解の提示	学生と地域(住民)双方の視点から、根拠に基づき、自らの見解を明確に提示しているか。
B データの扱い	データの内容を的確に把握、活用し説得力があるか。
C 文章の構成	活動の内容を理解するために重要な情報を的確かつ十分に示しているか。
D インサイト・洞察力	自分たちの活動を本質的に捉え、十分な考察及び振り返りがなされているか。
E 印象点・インパクト	オリジナリティや工夫があるか。発表を聞きたいと思えるか。

◆プレゼンテーション審査

【審査員評価】

- ・以下 A～E の評価項目に沿って審査を行う
- ・A・B・C・D は各団体を絶対評価、E は他団体との比較を含めて相対的に評価する（評点：各 5～1 点）

評価項目	着眼点
A 主張・論点の提示	活動の内容や意義を明確に提示し要点をまとめているか。
B プレゼンテーションの構成	視覚的な情報（図表、写真等）やデータを効果的に使用し、筋道の立った順序で、伝えたい内容をわかりやすく提示しているか。
C 発表・受講の態度	説得的に自信をもって発表しているか。他者の発表を積極的な態度で聞いているか。
D 学生の成長	自分たちの活動に対して十分な考察及び振り返りがなされ、活動を通じた成長が見られたか。
E 印象点・インパクト	社会的関心や活動の意義、独創性を感じられたか。

【学生評価】

- ・審査会出場学生が他学生のプレゼンテーションに対し、以下の着眼点で評価する（評点：3～1 点）

着眼点
地域連携活動を通して、様々なことを学び、工夫して取り組んでいたか。またプレゼンテーションにおいて、それらを伝えられていたか。